

意見募集の趣旨

大分市議会議員政策研究会（全議員を構成員とする）では、令和7年6月に政策課題を「(仮称) 人とひとがつながる大分市条例」に決定し、条例の制定を目指すこととしました。

そして、具体的に調査研究を行う推進チームを立ち上げ、本市の現状や課題、他市の条例等の調査研究を行いました。

令和7年11月から令和8年2月にかけて、市民や関係団体（次ページに一覧を掲載しています）と意見交換を行う中、いただいたご意見を踏まえた条例の骨子（案）の作成に向けた協議を行ってきました。

その後、条例の骨子（案）を決定したことから「(仮称) 人とひとがつながる大分市条例」骨子（案）について、広く市民の皆様からご意見を募集します。

条例の骨子（案）作成に当たっての考え方

近年、少子高齢化の進展や単身世帯の増加などにより、地域でのつながりが薄れ、地域コミュニティの衰退や担い手不足が進んでいます。

地域における支え合いの機能が低下することにより、社会的に孤立してしまう人や、日常生活等において孤独を感じる人が増えるおそれがあります。

こうした中、誰もが「自分の居場所がある」と感じられるよう、市民をはじめ各種団体等が相互に連携し、人とひとのつながりを深めていくことが求められています。

市民が孤独・孤立の状態に陥ることがないように、子供や若者、高齢者など様々な立場の市民が無理なく関われる緩やかなつながりづくりを進めることにより、人とひとがつながり、互いに支え合う社会の実現を目指します。

これまでの議員政策研究会の詳しい活動経過については、右の二次元コードからご覧ください。

